

# ついに

○：「4～5年前のアンケート結果では、

特に子供たちを中心に、木を伐るのは悪いこと」という声が

圧倒的に多かつた。しかしながら昨今は知識人など

伐るのは良いこと。

という論調に変わってきている」と話す

のは、九州木材工業（福岡県筑後市）社

長で、平成18年度の

日本木青連会長も務めた角博氏（写真）。

以前は一般からの抵抗感などを考慮して

変化が見られる。木

材、森林の価値は2酸化炭素吸収源だけ

ではないが、そこを切り口に先生方、また最も重要な子供たち

の意識が変わっていくことになれば、

将来に向けて、木材利用へのイメージが

向上して

いくのは

間違った

いと思

う」としている。

## 「木を伐るのは良いこと」へ変化感じる

角博氏（九州木材工業社長）

。木を使うのは良いこと」という表現が必要だったが、今は直接「伐る」という言葉を使っても理解が得られるようになってきたと感じている。



の間でも、再造林・

植林などを前提に2

酸化炭素吸収（固

定）源としての評価

などを含めて、木を

○：「昨今は、木育

という言葉も使われ

始め、教育現場にも